


風とおしの良い夢あるまちづくり
ながら俊一 通心

平群町議会議員
ながら俊一事務所
〒636-0925
奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3
TEL・FAX 0745-45-3955



ごあいさつ

平素は、町議会に対しましてご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
春の議会議員選挙から早いもので半年がたち、9月議会を終え、少しずつ議員活動で、『私に何ができるのか』と自問自答しながら日々の行動を考え、今に至っている状況です。『風とおしの良い夢のあるまちづくり』をテーマとし、平群町の住民として、何か役割を果たせるようにという思いを胸に議員活動を続けてまいります。
議員活動も、半年が過ぎ、近況報告をさせていただきます。また、町民の皆様からのご意見を伺い、町行政に提案し、実現できるように全力で頑張ります。

令和元年9月 平群町議会

第4回町議会（9月議会）	
報告案件 (3件)	議会の委任による専決処分の報告について
承認案件 (1件)	専決処分の承認を求めることについて
議案案件 (20件 議案第42号～61号)	平群町総合文化センター設置及び管理に関する条例の制定についてなど
諮問案件 (1件)	人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて
認定案件 (11件)	平成30年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定についてなど

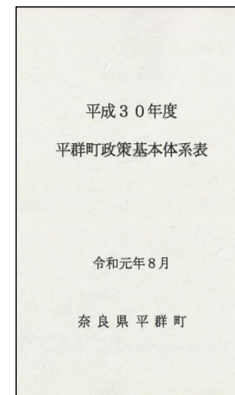
(※明細は議会だよりを参照してください)

第4回定例議会（9月議会）は、本会議以外に、委員会付託として、文教厚生委員会、執行後における政策評価についての委員会、総務建設委員会、文教厚生委員会、決算審議特別委員会（一般会計、各特別会計・各事業会計）など、委員会審議などがありました。

文教厚生委員会付託議案	
議案第42号	平群町総合文化センター設置及び管理に関する条例の制定について
議案第43号	平群町どんぐり広場設置及び管理に関する条例の制定について
議案第54号	平群町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第55号	平群町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所使用料徴収条例の一部を改正する条例について

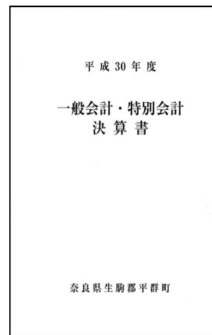
来春オープン予定の総合文化センターの運用について、様々な観点から鑑み、町民の方々が、有意義に活用して頂けるように新たな条例が制定されます。
幼児教育・保育の無償化にともない、対象町内施設（はなさとこども園・ゆめさとこども園・平群北幼稚園）に通う子どもたちの状況により負担額は、異なりますが、若い親世代にとっては、少しでも軽減の手助けになると思います。

■平成30年度 平群町政策基本体系表より概要及び執行状況ならびに、現状と課題について委員会が開催されました。



【決算審査特別委員会（一般会計・各特別会計・各事業会計）】

【平成30年度平群町一般会計から上・下水道事業会計までの11項目の決算認定】



感想

9月議会は、決算報告が主で、たくさんの資料に目を通し、数字ばかりの日々でした。町民のみなさんの気になるところは、文化センターの進捗状況だと思っています。もう少して、工事で隠れているところも、取り除かれ、新しい総合文化センターのお披露目です。また、駅前周辺事業も終盤になり、平群町の表玄関が充実し、自然豊かな住みよい街『平群町』になるように願うばかりです。
子ども・子育て支援法の改正にともない、制度変更があり、各世帯により徴収額は、異なりますが、徐々に良い方向に進んでいると思います。

一般質問 (議会議員)

9月議会での私が一般質問しました、内容を合わせて、ご報告いたします。

1. 学校における働き方改革

質問要旨

- ① 生徒や先生方の環境を充実させるような改革が必要と考えますが、どの様な取り組みをされていますか。

回答

児童・生徒に関しては、小・中学校への空調の整備や、快適な学校生活を送れるよう、トイレの改修等など、ハード面での教育環境の改善に取り組んでいます。

次に、学校の先生方に関しては、児童生徒数の減少に伴い、先生方の人数も減少しております。しかし、生徒指導・部活動・保護者対応など勤務時間が長時間になっているため、全国的に先生方の働き方改革について、大きな関心が寄せられています。学校に対しては、校園長会や教頭主任会など、様々な機会を通じて、ノー残業デーを設けるなど、先生方の勤務時間の縮減を図るよう指導を行っています。

先生方の事務作業の改善についてですが、児童生徒の出欠や、成績処理、健康診断の記録など多岐にわたると共に、仕事の仕方もパソコンで行うものと、紙ベースで行うものが混在し、効率的ではないと考えております。このことから、奈良県が進めている「奈良県統合型校務支援システム」の導入を進めています。これは、先生方が日々行う様々な事務作業を電子化し、業務の効率化、合理化を図り、事務負担を軽減し、働き方を改善していくためのものです。

本年度は、県事業の実証実験校となっている、北小学校、中学校と合わせて残り平群小学校、平群南小学校への導入を進めています。

先生方の部活指導に関してですが、中学校では、先生方が、部活動の顧問、指導員となり、放課後や土曜・日曜日の練習や各種大会への引率などがあり、部活動指導業務にも多くの時間が費やされているのが実情です。その部活動の指導業務改善策としましては、昨年9月から、中学校へ部活動指導員を配置しており、負担軽減を図っています。

今後も、何よりも児童・生徒の学びの為、また先生方がより働きやすく、学校教育に取り組んで頂けるよう、引き続き、教育委員会と各学校が連携を密にし、様々な取り組みを進めてまいりたいと考えています。

2. 平群町の特産物とPR事業について

質問要旨

- ① 農業従事者の現状の販売実績の推移について
- ② 平群町の特産物の販売実績の推移について
- ③ 歴史散策などで、平群町を訪れる人数の推移について

回答

① 平群町においては、小菊、バラ、ぶどう、イチゴと各種農産物の生産が活発でございますが、全国的な農家戸数の減少に伴う後継者問題や遊休農地の発生については、懸念されているところでございます。しかし、その中でも平群町では、非農業から参入した新規就農者も通算で6名おり、先の主要農産物についても一定以上の後継者がおり、就農もされておられます。

その一方で後継者がおらず廃業し、その農地が遊休農地化するという事例もございます。

(中略)

農業振興に関しましては、設備投資などに対する補助や資金制度、新規就農者に対する補助制度など国の各種補助制度が充実しており、農地貸付のあっせんを行う県の機関もあり、規模拡大などを考えておられる農家に向け、それらの制度等の利用を推進し、一層の支援に努めていきたいと考えております。

② 『近年の特産物の販売の推移について』は、芋焼酎「里の恵」は、平成29年度 が556本で約115万円、平成30年度が452本で約98万3千円、実績・売上共に18.7%減少しています。

梅酒は、平成29年度が870本で約61万9千円、平成30年度が515本で約44万8千円、実績・売上共に40.8%減少しています。

日本酒「平群」は、平成29年度が1,508本で約346万円、平成30年度が1,445本で約323万円、実績・売上共に4.2%減少しています。

③ 『歴史散策などで平群町を訪れる人数について』

信貴山朝護孫子寺は、平成29年度が597,000人、平成30年度が864,000人で、千光寺は、19,550人平成30年度が、18,800人となっています。

また、観光ボランティアガイドの方々が案内された人数は、平成29年度が3,999人、平成30年度が2,822人となっています。

3. 今後の財政見通しについて

質問要旨

- ① 今後の財政見通しについて

回答

本町の財政状況は、非常に厳しく、平成30年度決算において

- ・実質収支は、74,704千円の黒字ではありますが、
- ・実質単年度収支は、△146,222千円の赤字となっております。

また、この状況は、30年度だけのものではなく、

- ・地方債残高(借金)が、14,588,362千円もあることや、
- ・財政調整基金(貯金)が、わずか93,197千円であるため、
- ・財政指標からも「実質公債比率」15.6%と高水準

特に、「将来負担比率」は、225.7%と、おそらく奈良県下で一番悪い数値となり、全国でも夕張市に次ぐ悪い数値となることが極めて高いと思われます。

この「将来負担比率」が表すとおり、町の財政規模や基金残高(貯金)に対し、地方債残高(借金)の割合が著しく高く、このことが一定水準に落ちてくまで、この厳しい財政状況は、今後も続くものだと思います。

このように公債費が高い、財政状況になっている状況を分析しますと、

- ・【貯金】財政調整基金
- H14年度 631,902千円であったのが、
- H30年度 93,197千円

- ・【借金】地方債残高
H14年度 10,431,725千円であったのが、
H30年度 14,588,362千円
- ・【負債】土地開発公社債務
H14年度 4,684,018千円であったのが、
ゼロ（解消）
となっており、約15年前と同水準の債務状況となっております。

この間、本町は、土地開発公社の清算、駅周辺整備事業の推進、小学校の再編、こども園の建設、また、文化センターの建設と様々な事業を実施してまいりました。当然、それぞれの事業は看過できないものとして、事業化に取り組んだわけではありませんが、その債務がおもく、将来負担として町財政を圧迫しているのが状況であります。

「これからの平群町の財政見通しを明るく導くためのその方針とプロセス」についてであります。このように、一時的には財政が好転した時期も確かにありましたが、抜本的に安定した財政状況に成りえていないのが現状であります。

そのため町は、

- ・平成16年度には「平群町行財政改革大綱」を策定し、平成16年から25年度までを計画期間として、「行政組織に見直し」、「各種使用料の見直し」、「事務事業の見直し・廃止」、「総人件費の抑制」を実施してきました。
 - ・また、現在は、平成26年度には「第2次平群町行財政改革大綱」を策定し、「次世代に引き継ぐまちづくりのために」を目指すべき方向として、計画期間は令和4年度まで、行財政改革の基本的な指針として、その内容に取り組んでおります。
- 主なものとして、「事務事業等の見直し」、「組織・機構の見直し」、「職員の定員管理」、「住民参画と住民協働」などを取り組み項目とし、推進しております。

財政の健全化には「特効薬はありません」地道に、これら行政改革の取り組みを推進しながら歳出の徹底的な見直しと自主財源の確保する施策の推進、両方に努めていかなければならないと考えております。

委員会、研修会

令和元年10月7日	議会議員先進地視察研修会（南あわじ市）
令和元年10月24日	全員協議会
令和元年10月30日	生駒郡町村議長会研修会
令和元年11月7日	奈良県町村議会研修会新任議員研修
令和元年11月16日	町政住民説明会
令和元年11月16日	平群町議会報告会
令和元年11月18日	文教厚生委員会
令和元年11月25日	平群町総合文化センター見学会
令和元年11月29日	全員協議会

まとめ

9月議会を終え、各委員会、研修会と様々な活動があり、町行政に何が提案できるのかと日々自問自答しています。

他の市町村との比較、町の良いところを発信し、財政状況を好転させる兆しを導く努力を惜しまないことが本町にとって、大変重要と考えます。一般会計、各特別会計・各事業会計など、細かく丁寧に見直し、円滑に進める為、再考することが必要と考えます。

財政状況が、大変厳しい中で、各特別会計が、円滑に運営できるなら基金のあるべき状況を考え、見直しが必要だと思います。

例えば、近年の物価上昇などによる学校給食の充実の為の値上げなどは、致し方無いと考えます。仮に、町行政基盤充実の為に、町民の方々に、『あらゆる角度からの見直し』感じてもらい、『住み良い町、平群町』を実感して頂けるように提案したいと思えます。

若い世代の考え方、人生の先輩からの意見を伺い、マッチングし、町行政に提案することが、議員活動の中心になると考えます。

この度、ホームページを作成し、歩きながらも発信できる時代に変化している令和の時代を平群町で一緒に暮らす人々と明日を創る発信者になれるように邁進します。

これからも、応援よろしくお願い致します。

皆様の声を、ぜひ、
ながら俊一にお聞かせください！

ながら俊一事務所

〒636-0925
奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3
TEL・FAX 0745-45-3955
<https://nagara-shunichi.com/>